
最強ニート伝説

空々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強ニート伝説

【Nコード】

N0168Z

【作者名】

空々

【あらすじ】

生きていたら、誰でも成り得る可能性がある。

それがニート。

アルバイトも就職活動も全部、ぶん投げ、自分のライフスタイルを確立する。

それがニート。

ネットを愛し、ゲームを愛し、二次元を愛す。

それがニート。

世間を偏見な目で見る。

それがニート。

人間恐怖症、対人恐怖症、コミュ章が持ち。
それがニート。

そしてそれが僕。

スペックは二十歳。

何もしたくない。

何もしない。

働いた負け。

生活保護が勝ち組。

FX勝ちたい組。

遊んで暮らしたい。

早く童貞を捨てたい。

でも風俗は嫌。

それが僕。

そんなそんな下らない物語の主役が僕。

僕が主人公。

リアルでは絶対に主人公に成らない僕が主人公。

第1話 スペック。

僕の名前は雨風雲春。あめかせくもはる

何処のアニメだ！

どんな名前だ！

全然、萌えねえし、だせいし。

完全に名前負けをしている。

だからって親を憎んではない。

でも愛してもいない。

母さんは単純にご飯は毎日、作ってくれるから、便利程度に思っている。

でも父親は嫌い。

僕に、

「働け！ 働け！ 頼むから外にたまには出掛けてくれ！」

と、土下座する。

なんだあの土下座！？

僕が本気で土下座したら国が動く位、すげえのに父さんの土下座は誠意も何も無い。

普通のサラリーマンが単純に顧客に謝るノリだ。
だから社蓄は嫌いだ。

僕が本気を出せば何処かの社長なんだろうけど、そんな本気を出すのはガキっぽい。

もう二十歳なんだから、ノラリクラリ生きるんが良いに決まってる。

親が生きている間は親を使う。

これが僕の座右の銘だ。

さてさて、今日も昼に起きたし、下に下りるか。

僕はボサボサの髪を掻きながら、一階のリビングに向かった。
リビングのテーブルにはラップされたカレーライスが置いてある。

ちっ！

昨日の残りかよ！

手抜きだなあああババア。

けど、僕は食べるモノを探すのも、作るのも面倒なのでカレーライスをパク付いた。

「中々、うまいなあ。やっぱり一日、置いたカレー最強だな」

さつきとは打って変わって、違う事をほざく僕。

そんな自分が大好きな僕。

カレーライスを食べ終わるとテレビを見る。

これは日課だ。

いいともは僕のサイクルを調整するのに一役かっている。

あゝタモさんのサングラスの奥、こえ。

そんなどうでも良い事を呟き。

テレビを消す。

別段、いいともなんてクソだ。
興味はない。

佐々木が見たいだけだ。あとはどうでも良い。
特にお笑い芸人なんて、意味が無いと思う。
テレビ局に抗議したいくらいだ。

まあ風呂に入ろう。

僕は童貞だけど、不潔は嫌だ。
お風呂は好きなニートなのだ。

第二話に続く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0168z/>

最強二一ト伝説

2011年11月30日21時56分発行